

報 道 資 料

平成23年 3月17日
奈良県防災統括室
担当：榊原
直通：27-8448
内線：4508

3月11日の東北地方太平洋沖地震に関する 奈良県の対応等について（第17報）

（3月17日 20：30発表）

1. 震度情報（震度6弱以上）

3月11日（金） 14時46分頃
震度7 宮城県北部

3月12日（土） 3時59分頃
震度6強 長野県北部

3月15日（火） 22時31分頃
震度6強 静岡県東部

2. 県内震度（震度3以上）

3月11日（金） 14時46分頃
震度3 奈良市、大和郡山市、天理市、安堵町、川西町、三宅町

3月12日（土） 3時59分頃
震度1 大和郡山市

3. 県内市町村被害状況

人的被害およびその他の被害の情報なし

4. 県の体制

3月11日（金） 14：46 地震災害警戒体制 1号警戒配備
※基準
近畿2府7県以外の都道府県で震度6弱以上の地震が発生

16：08 地震災害警戒体制 2号警戒配備
近畿2府5県のうち和歌山県、徳島県で大津波警報発令による

22：00 地震災害警戒体制 2号警戒配備（9人）から1号警戒配備（4～5人）へ変更し、3月14日（月）8：30まで、1号警戒配備で継続対応。

3月12日（土） 3：59 地震災害警戒体制 2号警戒配備
※基準

近畿2府7県以外の都道府県で震度6弱以上の地震が複数発生

8:30 地震災害警戒体制 2号警戒配備(9人)から1号警戒配備(4~5人)へ変更し、3月14日(月)8:30まで、1号警戒配備で継続対応。

3月14日(月) 震災害警戒体制 1号警戒再配備

5. 奈良県職員のパ遣

3月13日(日) 防災統括室職員3名、宮城県に向け出発。

3月14日(月) 宮城県庁において情報収集開始

6. 救援物資について

○毛布★報道発表済み

3月14日(月) 3,500枚、宮城県気仙沼市役所へ搬送

3月15日(火) 7,000枚、宮城県気仙沼市役所へ搬送

○県及び市町村備蓄物資★報道発表済み

3月17日(木) 被災地へ向けトラック7台で出発

福島県向け 毛布 13,000枚

岩手県向け おむつ(大人用) 16,000枚

おむつ(小児用) 30,000枚

宮城県向け トイレ(屋外用) 80機

トイレ(簡易式) 7,000個

7. DMAT関係 (担当:奈良県医療政策部地域医療連携課)

3月11日(金) 奈良県DMAT(1隊(医師2名、看護師2名、事務1名、合計5名)・奈良県立医科大学チーム第1隊)仙台医療センターに向けて出発。

県立奈良病院DMAT1隊、市立奈良病院DMAT1隊が出動準備済、待機。

3月12日(土) 奈良県DMAT3隊(奈良県立医科大学チーム第2隊 医師1名、看護師2名、事務1名・県立奈良病院チーム 医師1名、看護師2名、事務2名・市立なら病院チーム 医師1名、看護師2名、事務1名 合計13名)伊丹空港から、自衛隊機により花巻空港へ。

奈良県DMAT1隊(県立奈良病院チーム)いわて花巻空港にてSCU活動開始。

奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第2隊)いわて花巻空港にてSCU活動開始。

奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第1隊)仙台医療センター到着。霞目SCUと仙台医療センター間の患者搬送活動開始。

3月13日(日) 奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第2隊)いわて花巻空港にてSCU活動中。

奈良県DMAT1隊(市立奈良病院チーム)いわて花巻空港にて搬送活動中。

奈良県DMAT1隊(県立奈良病院チーム)いわて花巻空港にて活動中。

奈良県奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第1隊)仙台医療

センターで現地本部と協議し活動終了。
10:15 奈良県へ出発

3月14日(月) 奈良県DMAT1隊(県立奈良病院チーム)、バスで奈良県へ出発。
奈良県DMAT1隊(市立奈良病院チーム)、奈良県へ帰着
奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第2隊)、奈良県へ帰着

8. 医療従事者等の派遣

○保健師の派遣(担当:医療政策部保健予防課)★報道発表済み
県及び奈良市の保健師等、3月16日(水)奈良県庁より宮城県へ出発
4月30日(土)まで4泊5日で交替で支援を行う予定。

○医療救護班の派遣 ★報道発表済み

奈良県医療救護班を宮城県気仙沼市に派遣予定(医師1名、看護師2名、事務1名)
活動期間 3月19日(土)～23日(水)

9. 消防防災ヘリコプター

3月11日(金) 消防庁より奈良県消防防災ヘリコプター出動依頼あり
搭乗員は9名(隊員5名、機長1名、副機長1名、整備士2名)、
用務は消火・救助活動。

3月12日(土) 奈良県ヘリポート出発、福島空港到着
相馬地区において孤立地域の救助活動開始。

3月13日(日) 新地地区で救助活動。
福島県相馬市、宮城県亘理郡で捜索・救助活動。

3月14日(月) 福島県新地町～宮城県亘理町 捜索活動

3月15日(火) ヘリの25時間点検のため活動休止

3月16日(水) 福島原発爆発事故のため、群馬ヘリポートにて待機

3月17日(木) 奈良県ヘリポートに帰投

10. 緊急消防援助隊の出動

3月11日(金) 奈良県より消防庁へ緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告
(24隊87人)
消防庁より奈良県緊急消防援助隊に出動要請

3月12日(土) 針インターに集結、点呼の後、25隊91人により東京方面に
向けて出発。途中、消防庁の指示により、目的地を長野県庁に
変更。(長野県で震度6強の地震を観測したため)長野県松代
サービスエリア到着後、長野市消防局と調整。福島県郡山カ
ルチャーパークに向け出発、到着。

(内訳)

県指揮隊	2隊	6人
消火部隊	7隊	34人
救助部隊	3隊	15人
救急部隊	10隊	30人

後方支援隊 3隊 6人

3月13日(日) 福島県郡山カルチャーパークから宮城県山元町に向け出発。岩沼市へ緊急出動要請。岩沼市消防本部に向け出発、到着。山元町立山下中学校へ到着。

後方支援隊1隊(4名)を物資搬送(緊急消防援助隊のための物資)のため派遣追加。宮城県へ向けて出発。

(内訳)

県指揮隊	2隊	6人
消火部隊	7隊	34人
救助部隊	3隊	15人
救急部隊	10隊	30人
後方支援隊	4隊	10人
合計	26隊	95人

3月14日(月) JR常磐線坂元駅北側一帯で救助活動

交替要員出発(26隊93人)

(内訳)

県指揮隊	1隊	3人
消火部隊	7隊	34人
救助部隊	3隊	15人
救急部隊	10隊	29人
後方支援隊	5隊	12人

3月15日(火) 交替要員到着、引継、引き続きJR常磐線坂元駅北側一帯で救助活動
先発隊、現地引きあげ

3月16日(水) 先発隊、奈良市消防局帰着 解散式
第2隊、JR常磐線山下駅周辺で救助活動

3月17日(木) 第2隊、宮城県山元町で捜索活動
第3隊(2回目の交代要員)出発

11. 奈良県広域緊急援助隊 (担当: 奈良県警察本部警備第二課)

3月11日(金) 奈良県広域緊急援助隊 救出救助業務のため東北地方へ向け出発

3月12日(土) 奈良県広域緊急援助隊(刑事部隊9名) 宮城県に向けて出発。

3月13日(日) 奈良県広域緊急援助隊(刑事部隊) 宮城県東松島市石巻警察署管内で活動開始

奈良県広域緊急援助隊(警備部隊・交通部隊) 岩手県岩泉町岩泉警察署管内で活動開始

3月15日(火) 奈良県広域緊急援助隊(刑事部隊) 帰県

3月17日(木) 奈良県広域緊急援助隊(警備部隊) 帰県

12. 応急給水支援隊の出動

3月15日(火) 給水車1台、指令車1台、職員5人、県水道局より、応急給水支援活動のため、岩手県盛岡市上下水道局に向けて出発。(1班あたり8日間出張、4班体制で対応)
(担当: 奈良県水道局総務課)

3月16日(水) 奈良市水道局より給水車10台9事業者(※)22人、岩手県盛岡市上下水道局へむけて出発。
※奈良市2台、生駒市、橿原市、香芝市、桜井市、天理市、大和郡山市、大和高田市、広陵町各1台 計10台(担当: 奈良市水道局業務部総務課) ★同機関より報道発表済み

3月17日(木) 陸前高田市 希望ヶ丘病院で給水活動

13. 市町村の対応

3月11日(金) 17:00 奈良市救援対策本部設置
(担当: 奈良市市民安全課)

14. 防災関係機関の対応

○日本赤十字社奈良県支部

医療救護班1班(7名)、県立三室病院で準備完了。

3月12日(土) 岩手県盛岡赤十字病院に向け出発。救援物資として毛布1,000枚を提供

3月13日(日) 盛岡赤十字病院に到着。
日赤岩手県支部の指示により久慈市大川目中学校(避難所)へ移動。大川目中学校で青森県支部の先遣隊と合流。合流後、岩手県九戸郡野田村の国民宿舎「えぼし荘」(避難所)へ移動し、医療救護活動開始

3月14日(月) 野田村役場職員と保健師の案内で、順次巡回診療後、避難所(久慈工業高校)へ移動
避難所(久慈工業高校・岩手県野田村)到着、巡回診療開始。診療者数は55名。
青森支部と打ち合せ。救護所はライジングサンスタジアム運動公園野球場内(岩手県野田村)に設置決定
毛布500枚 追加提供

3月15日(火) ライジングサンスタジアム運動公園野球場及び野田小学校(岩手県野田村)に救護所を設営し、医療救護活動を実施。
診療者数23名

3月16日(水) 救護所で診療活動を実施。

3月17日(木) 救護班第1班と第2班(県立奈良病院6名・支部職員1名)引継。

15. 被災者の県営住宅及び市町村営住宅の入居★報道発表済み

(担当: 奈良県住宅課)

○県営住宅: 計100戸

○市町村営住宅: 計56戸(15市町村) ※今後さらに増える見込み